

質疑応答書

令和2年 9月 28日

伊那ゆいま～る・ほっと上伊那 建設工事 について、下記のとおり回答しますのでご確認ください。

(回答は質問順、重複の質問は省略、敬語は省略しました。)

記

| 番号 | 質問事項 | 回答事項 |
|----|--|---|
| 1 | 入札公告の入札参加資格、工事業種、福祉施設の工事実績を有することとあるが、小規模多機能型居宅介護施設(354㎡)グループホーム(527㎡)も含まれるか。 | 含まれます。 |
| 2 | 屋根材について、設計書では「同等」と記載、準耐火構造認定品であれば同等品でよいか。 | 同等でよい。 |
| 3 | LSD-1, LSD-2の数量について、設計書と図面で数量の相違がある。図面優先でよいか。 | 図面優先でよい。LSD-1・3か所, LSD-2・2か所 |
| 4 | 外構工事・雨水排水工事、設計書にある接続柵の場所が不明。指示を。 | 横断用側溝の両端で、U字溝との接続部分です。 |
| 5 | 擁壁B、設計書ではD13, D10記載あり。図面ではD13のみ。D10はなしでよいか。 | D13のみで図面が正しい。 |
| 6 | 建築工事内訳書、総括番号と明細番号があてないが(コンクリート、型枠、鉄筋)どちらを優先か。 | 明細番号を優先します。 |
| 7 | 機械設備工事内訳書、総括番号と明細番号があてないが(換気設備以降)どちらを優先か。 | 同上 |
| 8 | 隣接する東側グラウンドは工事用敷地として利用可能か。 | 既に他業者が購入した土地であり、造成に入っているため利用不可です。 |
| 9 | ハッチ部分の敷地は工事用敷地として利用可能か。 | 可能、ただし鉄棒、高層の樹木は残していただきたい。 |
| 10 | 共通仮設工事内訳書に、仮囲い、ゲートがあるが、設置範囲、数量、仕様の指示を。 | 仮囲いは不要。ゲートは、接道部分にH1.2mキャスターゲート設置します。 |
| 11 | 各風除室・玄関の床に施工する、ゴムチップ・誘導警告タイルの施工範囲及び配置の指示を。 | 室内は床見切の範囲、外部はスロープと階段及び上ったピロティー部分です。誘導警告タイルは、内訳書の枚数で現場指示します。 |
| 12 | 外構工事の特記事項に、植栽工事のチェックされているが、図面及び内訳書には記載がない。本工事範囲外でよいか。 | 別途工事とします。 |
| 13 | 浴室床及び腰仕上タイル部分に、防水処理は必要ないのか。 | 不要です。 |
| 14 | 基礎伏図において、ら～み一三～十三にある布基礎は、FG1・fg1とみられるが、納まり上EG2・fg2と考えてよいか。 | EG2 fg2 です。 |
| 15 | 廊下吹き抜け屋根の品番が、屋根伏せ図ではロイヤル横葺250矩形図ではeルーフ横葺220とある。矩形図を正と考えてよいか。 | 矩計図を正解とします。 |

| | | |
|----|---|------------------------|
| 16 | 建築工事内訳書、金属工事に、(外部)天井軽鉄下地の使用が19型となっているが、図面に記載の公共建築工事標準仕様書によると、外部は25型が推奨されている。19型25型かどちらか。 | 19型を使用します。 |
| 17 | 外部サイディングおさまりについて、矩形図では廊下吹き抜け屋根の外壁下地はアスファルトルーフィング+木胴縁とあるが、一般外壁は透水防湿シートのみ。外壁下地は以下のどちらか ・廊下吹き抜け屋根外壁下地：アスファルトルーフィング+木胴縁 ・一般外壁下地：透湿防水シート+木胴縁 | 一般外壁下地とします。 |
| 18 | 外部仕上表で、柱型・車寄せ袖壁はPBt15+t9.5下地とあるが、参考内訳には計上されていない。外部仕上表を正として、PBt15+t9.5は必要か。 | PBt15+t9.5下地とします。 |
| 19 | スロープ自立手摺が仕上表ではΦ38ですが、平面詳細図ではΦ34とある。平面詳細図が正か。また、SUS手摺子の高さなど詳細の教示を。 | 34φ、高さはH=800。支柱埋込とします。 |
| 20 | 特記仕様書に、かぎ箱が記載されているが個所数が記入なし。1か所なのか。 | 鍵箱は不要(既存の物を使用) |
| 21 | 額縁はAWの建すべてに取りつけと考えるとよいか。 | 良い。 |
| 22 | ライニングの仕上について、コンパネ+メラミン化粧板t=6とあるが、コンパネの厚みが不明。厚9.0でよいか。 | 内訳書による。 |
| 23 | 内部仕上表の共通事項に、天井開口部分の被覆について指示があるが、金抜き内訳書にはない。被覆が必要な個所の教示を。 | 内訳書による。 |
| 24 | 建具、AD3の数量がキープラン(1か所)建具表(3か所)と相違あり。どちらが正か。 | 1ヶ所です。 |
| 25 | 外構、アスファルト舗装の数量について、図示数量(2,428㎡)での計上でよいか。 | 2,383.6㎡(内訳書数量)です。 |
| 26 | 既存電柱撤去は別途工事か。 | 別途工事です。 |
| 27 | 南側敷地現況形状のままとする範囲は、ハッチングがかかった側溝・柵までと考えるとよいか。 | 側溝・ますは今回工事範囲です。 |
| 28 | 金抜き内訳書に、車止めブロックの代価-G-G11が見当たらない。代価の提供を。 | 代価無しです。 |
| 29 | 金抜き内訳書、木工事、不要土場内敷均しの項目があるが、敷きならす場所の教示を。 | 南側工事範囲外部分へ。 |
| 30 | 特記仕様書中の監督員事務所について、「仮設計画図による」が適用になっているが、仮設計画図が見当たらない。ご教示を。 | 仮設計画図はありません。 |
| 31 | 構造について、基礎リスト「補3a(人通路)」の施工箇所不明。伏図に指示を。 | 6通りの、りーめ、間に1ヶ所施工する。 |
| 32 | 土間(t120)の天端について、S-02図にはGL+120と記載があるが、s-04図の浴室スラブ詳細図右側の土間は天端がGL+60程度で描かれている。土間(t120)の天端はGL+60でよいか。 | 詳細図 GL+120です。 |
| 33 | 壁・天井のビニルクロスについて、ビニルクロスの右に(A)(S)(B)と記載されているが、それぞれ「AA級」「S級」 | 良いです。 |

| | | |
|--|----------------|--|
| | 「B級」と読み替えてよいか。 | |
|--|----------------|--|